



# 東京本郷ロータリークラブ週報



2014-2015 年度 国際ロータリーテーマ 「ロータリーに輝きを」  
東京本郷ロータリークラブテーマ 「地域社会に密着した奉仕活動を推進しよう。」

創立/平成3年3月13日(1991年)  
事務局/〒102-0072 東京都千代田区飯田橋1-9-6-905 電話:03-3238-5350 FAX:03-3238-5352  
インターネットホームページ: <http://www.t-hongo-rc.gr.jp> E-mail: [office@t-hongo-rc.gr.jp](mailto:office@t-hongo-rc.gr.jp)  
例会:毎週水曜日12時30分 例会場:ホテルメトロポリタンエドモント 電話:03-3237-1111  
〒102-8130 東京都千代田区飯田橋3-10-8  
会長:柴山修一 副会長:大住省一 会長エレクト:河合 洋 幹事:松岡 浩 会報委員長:飯田美里

10月1日 第1108回例会

2014年10月1日発行(No.1064)

## 本日の卓話

「ゴルフから見る日本」

ジャーナリスト 大宅 映子 様  
紹介者 伊藤 守会員

## 次回の卓話(10月8日)

「米山奨学生(米山友の会)」

担当理事 松下 和正会員  
米山奨学委員長 古関 伸一会員

## 9月24日 第1107回例会報告

### ビュッフェ例会 — 会員懇談 —

#### 幹事報告

1. 地区より、会員増強に関する連絡として、銀行幹部入会促進のため、全国銀行協会にテーブルに配布しましたレターを出されたそうです。  
つきましては、地元地域の銀行幹部の方でロータリーにふさわしいと思われる方がおられましたら、会員増強委員会へご紹介下さい。
2. 9月26日(金)地区職業奉仕委員会が開催され、井田会員が出席されます。  
また、同日に北分区研修会が開催されます。幹事 松岡が出席します。
3. 2015年2月8日(日)～11日(水・祝)の日程で『第36回バギオ訪問交流の旅』のご案内がありました。詳細を回覧いたしますのでご覧下さい。
4. 今週末は、熱海への親睦旅行となります。現地集合となりますので、皆様お気をつけて集合下さい。

#### 出席

会員数:54名 欠席出席免除者:5名 出席数:38名  
欠席数:9名 出席率:80.85%  
9月10日修正後出席率:75.00%

#### ニコニコBOX

- \* 靄岡秀郎会員  
結婚記念日のお祝いありがとうございます。
- \* 林 一好会員  
大住さん先週はありがとうございました。
- \* 服部浩美会員  
涼しい季節になりました。長久保さん色々ありがとうございました。
- \* 米倉伸三会員  
68歳誕生日祝っていただきありがとうございます。残念です?
- \* 原田睦巳会員  
今日も元気でニコニコボックス。
- \* 伊藤 守会員  
妻の誕生日祝いに、豪華なバラをいただき有難うございます。このバラをキッカケに二人の心がバラバラにならないよう努力します。
- \* 齋藤陽彦会員  
遅れましたが、8月の誕生日祝いをニコニコします。ありがとうございました。

ニコニコBOX	33,000円
累計	356,000円

## 「世界初、フェイスブック基盤の ロータリークラブ」

ロータリー・ニュース：2014年9月18日

命にかかわる病によって夢を断念した一人の女性が、人道的奉仕という新しい人生の目標に向かって歩む姿をご紹介します。彼女の名は、アマンダ・ワーツさん。フィットネストレーナーになることを目指していた20代のあるとき、急激な腹痛に襲われました。虫垂炎のようなありふれた病気だろうとみていたところ、30回もの手術を必要とする、非常にまれな腫瘍性疾患であることが分かりました。人生の進路変更を迫られたワーツさんは、人助けの熱意からロータリー入会を希望。10代のあるときにロータリー青少年交換プログラムに参加し、その経験から希望を得たという彼女は、今度は自分が、現在のバイオリニストとしての腕を生かして希望を与える人になることを選びました。そして昨年、世界初となるフェイスブックをベースとしたクラブ、United Services Rotary を設立。会員がどこからでもオンラインで参加できるEクラブの形態を取り、フェイスブック上で情報交換が行われます。ワーツさんが以前、暗号解読者として米軍に勤務していたことから、会員には米軍関係者が多くいます。例会プログラムが決まっていないときは、さまざまな専門家による講演を無料配信しているTEDカンファレンスやロータリー関連ビデオを視聴し、例会の題材としています。

人と向き合って話し合えることほど貴重なことはないと話すワーツさん。それだけに、「離れた場所でも親睦を肌身で感じられるようにする」ことが重要だと指摘します。しかし、それでもなおソーシャルメディアの力を無視することはできないと語気を強めます。「多くのチャンスが見逃されており、体の傷がうずくたびに時間は限られていることを痛感します。ソーシャルメディアはパワフルな手段となり、革新性とチャンスを広げ、変化を生み出す可能性を秘めています。世界に山積みとなっている課題に取り組み、ロータリーの会員仲間を増やす必要もある今、何ごとにも臆せずチャレンジすることが大切です」

### フェイスブックの可能性

あまり長い文章は読みたいくない、限られた時間で話をまとめた、いろんな場所に行くことはムリ、などなど。忙しい人の要望は絶えません。そんなとき、フェイスブックでのEクラブが重宝します。無料でアカウントを作成でき、世界のどこからでも参加できます。もちろん、食事代もかかりません。ワーツさんのクラブは現在、活動のインパクトを高めるために、「希望を与える」ビジョンを共有できるなら、米軍関係者ではない人の入会も歓迎しています。会員の所在地は米国のほか、アフガニスタン、ドイツ、日本も含まれます。人助けのために、ワーツさんはスキルの修得に力を入れてきました。自らの闘

病生活で運動生理学者と協力したことをきっかけに、イリノイ大学で保健教育を学び、その後カリフォルニア大学サンタバーバラ校でさらに上の学位を取得。プレゼンターとしてのスキルも磨き、バイオリンの演奏とあわせて全米中で自らの体験を語り伝えています。ロータリーの「超我の奉仕」という言葉を知ったとき、“自らを見つける最善の方法は、他者への奉仕を通じて自己を失うこと”というガンジーの言葉を思い出したというワーツさん。人助けを通じて、自分は誰なのかという問いへの答えが分かるような気がする話します。クラブはその初年度に、戦争で亡くなった兵士たちの記念碑を作りました。その後、カリフォルニア州サンディエゴで小学校の改装を行い、日本での震災復興活動にも協力しました。現在クラブは、メキシコでの海外プロジェクトを計画。フェイスブックを基盤としたクラブならではの、国境を越えた取り組みが可能になります。「これまでにない方法で、ソーシャルメディアとロータリーを連動させる試み」と話すワーツさん。ロータリー創設者、ポール・ハリスの次の言葉を引用します。“世界は絶えず変化しています。そして私たちは世界とともに変化する心構えがなければなりません。ロータリーの物語は何度も何度も書き替えられなければならないでしょう”「ポール・ハリスなら、きっとソーシャルメディアを好きになってくれたと思います」

以上

ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY

(公財)ロータリー米山記念奨学会ニュース  
【★ハイライト よねやま174号★】

2014年9月12日発行

### <今月のトピック>

- ・寄付金速報 - 10月の米山月間に向けて -
- ・理事会・評議員会開催報告  
- 役員改選で新理事長就任 -
- ・ロータリーデーBBQ大会を開催  
【第2790地区学友会】
- ・まもなく米山月間資料がクラブに到着します！

### 【おしらせ】

海外米山学友会総会【韓国・台湾】日程のご案内  
全文の記事は、ぜひPDF版をご覧ください。

→ [http://www.rotary-yoneyama.or.jp/summary/pdf/highlight174\\_pdf.pdf](http://www.rotary-yoneyama.or.jp/summary/pdf/highlight174_pdf.pdf)

以上

本日の例会にて、

ロータリー財団寄付	0名	0円
米山特別寄付	1名	10,000円

のご寄付をいただきました。  
ありがとうございました。